

祝 月形町 町制施行70周年



空知管内第1号の村として誕生した月形町は、昭和28年の町制施行から、令和5年に町制施行70周年を迎えます。

今回は町制施行からの昭和の出来事を振り返ります。

月形村の誕生

明治14年樺戸集治監の設置によって、空知管内第1号の村として誕生した月形村は、73年経った昭和28年に「月形町」となりました。

70年のあゆみ

その1 ～昭和28年から昭和63年まで～

昭和27年10月31日村議会臨時会において「町制施行申請について」を議決し、北海道への申請・議決を経て、昭和28年4月1日から町制施行となりました。

村から町へ変更する背景には・・・

人口推移と時代背景

人口の推移

年代	明治33年 (1900年)	→	昭和5年 (1930年)	→	昭和25年 (1950年)	→	昭和28年 (1953年)
人口	3,180人		4,883人		7,711人		8,157人
世帯数	760世帯		860世帯		1,333世帯		1,373世帯

※人口および世帯数は月形町史によるものです。

町制施行時の時代背景

昭和20年代も後半に入ると、国民生活にも余裕が生じ、消費が増大してきました。これに伴い、第三次産業が興隆の兆しを見せ始めた時代です。

町制施行時の月形町

当時は、中心市街地を形成する区域に工場や商店が増え始め、それに伴い人口が増加していました。また、劇場などの文化施設も設置されていました。

・・・があり、

当時の議決の際には、「本村は逐年発展の度を示しておりますが、特にここ2・3年の村勢の膨張は著しく、最近管内先進町村にそん色なく、また関係法令に規定されている町となるべき各種の要件を具備しているので、町制施行を申請しようとするものである。」と提案理由を述べており、満場一致で可決されています。

1953 (昭和28)年	町制施行により「月形村」から「月形町」へ
1955 (昭和30)年	月形高等学校が道立校に移管される 私設「月形大谷幼稚園」開設
1960 (昭和35)年	月形大橋が完成
1962 (昭和37)年	月形商工会設立 カルメル会修道院が日本で5番目の修道院を設立
1963 (昭和38)年	月形炭鉱が閉山・紅葉谷小中学校閉校 石狩川頭首工竣工
1966 (昭和41)年	月形土地改良区設立
1967 (昭和42)年	役場庁舎(旧樺戸集治監本庁舎)が北海道開拓百年記念遺跡に指定
1968 (昭和43)年	雁里小学校閉校
1970 (昭和45)年	町民憲章を制定
1972 (昭和47)年	岩見沢地区消防事務組合発足 役場庁舎落成
1973 (昭和48)年	横浜航空セスナ機「そよかぜ」分監山に墜落 月形少年院(後月形学園)開院 北海道行刑資料館(旧樺戸集治監本庁舎)開館



昭和61年町民保養センター
オープンの様子



昭和48年行刑資料館の様子



昭和30年頃 柳橋からの街並み

1974 (昭和49)年	町営円山スキー場がオープン
1975 (昭和50)年	月形町・新篠津村による月新水道企業団開業
1976 (昭和51)年	中野小学校閉校
1980 (昭和55)年	台風6号により大水害が発生 月形ダム竣工
1981 (昭和56)年	開基100年記念式典を挙行政 町木(イチイ)・町花(キク)制定
1983 (昭和58)年	台風12号により甚大な被害が発生
1984 (昭和59)年	月形刑務所開庁
1986 (昭和61)年	皆楽公園が開園
1988 (昭和63)年	町民保養センターがオープン トマトジュース「おはようトマト」製造販売開始



昭和60年頃町民夏まつりの様子



昭和63年トマトジュース
製造販売開始